

事業報告書

2014年度
〈平成26年度〉

障害者支援施設

熊本ライトハウスのぞみホーム

2014（平成26）年度

事業報告

社会福祉法人 慈愛園
障害者支援施設
熊本ライトハウスのぞみホーム

施設種別	障害者支援施設
施設長名	原 口 庄 塑
職員定数	38名（非常勤を含む）
利用者の状況	生活介護支援 定員 40名（現員 40名） 施設入所支援 定員 40名（現員 40名） 短期入所支援 定員 2名、日中一時支援 定員 2名

“ 自分を愛するように 隣人を愛しなさい ” 聖書

「キリスト教の愛と奉仕の精神」を基本として、一人ひとりの生命の尊厳を大切にし、利用者の方々（神さまから託された、大切な人）の意向、障害の特性等を配慮した個別支援を行うこと、より家庭的な環境の中で、安心した穏やかな日々の暮らしを行っていただけるよう共に歩むことに心掛けた。

（1）施設運営に対する総括

平成26年度も社会福祉法人慈愛園のキリスト教の精神を基盤に、“利用者が主役・共に生きる”を目標に「家庭的な雰囲気の中で、快適で穏やかな生活・お互いが支えあい、励ましあう生活を“という方針を継承して事業を行った。毎日の朝礼・連絡会・ミーティング・各種委員会等を通して、職員間の意思疎通を図り、職員が留意すべき利用者の生活・心理状態・健康状態等の基本的な情報共有に努めた。また、個別支援計画を基に、個々のニーズを大切に個別対応で寄り添いながら福祉サービスを提供するという、基本目標に沿った施設運営を行うことができた。

また、「虐待防止」、「身体拘束について」「不適切な支援」等については、数年前から意欲的に取り組み、学習を重ね、意識の高い職員組織を目指すことができた。

特に「安心・安全・満足度の高い暮らし」を提供するため、リスクマネジメントの視点を持って、危機管理・安全管理意識の強化に努めた。併せて、地域との交流を意欲的に行った。

さらには、「障害者総合支援法」については、今後、見直しや検討が重ねられることにより、障がい者を有する人々に対する、以って有意義なる制度内容となることを願うものである。

(2) 利用者への福祉サービスについて

平成26年度運営方針のもと、全ての職員が利用者の豊かな生活のために最善の努力をした。また、個別支援計画に従って日常動作の支援・サービスにご家族の理解と協力を得ながら、全職員で取り組んだ。特に、40名の利用者の方の誕生日外出を実施し、担当職員と食事や買い物等の豊かな時間を作りに心掛けた。

さらに、入所利用希望の相談や見学受け入れについても意欲的に対応し、地域に貢献できる施設の役割を担うことができた。

福祉サービス提供施設に求められる、利用者の方々が安心して生活ができる場の提供に努めるとともに、相談・苦情についても、随時、適切な対応ができるように心掛けた。

(3) 健康管理と安全対策について

利用者の方々は健康管理が困難な人が多い中、利用者の方々と共に生活することで、食事・排泄・睡眠状態など一人ひとりの体調の観察を行った。また、各医療機関やご家族との連携や職員間で情報を共有し、予防・早期発見・早期治療に当たる事ができた。さらに、嘱託医による定期健診にて利用者の方々の身体的・精神的安定を図るなど日常の健康管理を行った。

協力医健康診断・・・精神科（26年7月28日・26年10月17日）

成人病検診・・・成人病検診車（26年12月9日）

のぞみホーム居室・ホールを診察室にして、生活の場での検査を実施。

高野病院訪問診療・・・3ヶ月に1回 痔疾患・便秘・排便コントロール等について検討。

外来受診困難利用者に対し、居室で受診・治療を受けた。

アニマルセラピー・・・愛犬とのふれあい、交流をもち、精神と肉体機能を向上させた。

* 入院や緊急受診が多く、受診の協力を依頼した。

熊本市民病院 日赤病院 くわみず病院 青明病院

* 26年度入院者：誤嚥性肺炎1名 逆流性食道炎1名

安全対策の強化として、月1回の避難訓練や消防署の立会いのもとに夜間の避難訓練を実施し、利用者や職員に対する安全教育に努力した。

(4) 職員の専門性・資質の向上について

利用者の方に質の高いサービスを提供するため、施設内・外の研修や自主学習会等を行うと共に、自己研鑽に努め、福祉サービス職員としての知識や対人援助技術を高めた。

① 施設内研修

ア. 聖書研究会 : 健軍教会の牧師を招き、聖書を通じてキリスト教と社会福祉施設職員の基本的なあり方を学んだ。(月1回)

イ. 新任職員研修 : 4月15日～16日
牧師・園長・事務長・各部主任・看護師・栄養士が説明した。

ウ. 衛生講話 : 市保健所より「シャットアウト食中毒について」のテーマと、手洗い体験を行い、ノロウィルス等わかりやすく講話を頂いた。
(26年6月30日)

エ. 防災講話 : 東消防署より火災を起こした時の対応や避難誘導、火災を起こさないための心得などについて、講話を頂いた。
(26年5月23日)

オ. 自主学習会

- | | |
|------------------------|---------------|
| ○個別支援について | ○非常設備の対応について |
| ○のぞみホームで働く福祉職員の心得 | ○AED研修 |
| ○人権擁護・知的障害施設職員行動規範について | |
| ○体罰・身体拘束等について | ○対人援助について |
| ○リスクマネジメントについて | ○ケース検討会 |
| ○相談・苦情解決等について | ○口腔ケアについて |
| ○感染予防対策について | ○検診結果についての検討会 |
| ○トロミ剤研修 | |

* サビ管会議、職員会議、給食委員会、リスクマネジメント委員会を中心に、学習会を行い、利用者一人一人が安心した生活ができるように配慮した。

② 施設外研修

- | | |
|---------------|----------------|
| ・施設長関係研修会 | ・社会福祉士実習指導者講習 |
| ・九州地区施設長研修 | ・スーパーバイザー養成研修 |
| ・法人新任研修 | ・知的障害施設職員研修 |
| ・福祉大会 | ・集団回収団体研修 |
| ・苦情解決・第三者委員研修 | ・施設・きずなの会合同研修会 |
| ・人権研修 | ・行動障がいへの支援研修 |
| ・口腔ケア学習会 | ・成年後見制度利用促進研修 |
| ・救急法研修 | ・レクリエーション研修 |
| ・防災協会視察研修 | ・モチベーションアップ研修 |

- ・リスクマネジメント研修
- ・慈愛園施設長等研修
- ・キャリアアップ研修
- ・ストレスケア研修
- ・自閉症研修
- ・相談面接技術研修
- ・ビジネスマナー研修
- ・県障害者虐待防止法・権利擁護研修

- * 施設外研修については、ミーティングで報告し、後日、全職員に研修報告書を回覧しながら、内容を深く学んだ。
- * 施設内外の研修に参加することによって、職員のスキルアップができた事、利用者の方に質の高い福祉サービスを提供する事が出来た。

(5) 各種委員会の充実

職員の共通理解と連絡体制の充実及び危機管理意識の強化のため、次の会議等を実施した。

- ① 職員朝礼と連絡会：9時から（土・日・祭日を除く）
- ② 運営委員会：月1回・臨時的
施設長・事務長・児童サビ管・のぞみサビ管・各主任・調理主任
- ③ 職員会議：月1回
- ④ 全体職員会：年3回
- ⑤ 職員ミーティング：毎朝9時（勤務スタッフ・実習生）
- ⑥ ケース検討会：ミーティング時・職員会・サビ管会議等
- ⑦ 給食・感染予防委員会：月1回（施設長・栄養士・調理員・給食担当者・利用者）
- ⑧ リスクマネジメント委員会：月1回（防火・車両・施設整備等）
施設長・事務長・主任・各部担当者
- ⑨ 愛育会だより委員会：施設長・各担当者・後援会担当者
年間の活動報告を編集し、各関係機関に配布する。

(6) 諸活動について

利用者一人ひとりのニーズや、個々の特性に応じた生活の豊かさを目指して、年間及び月間行事計画に沿って、社会参加の機会を提供した（資料掲載）。

- ① 随時の買い物。理・美容院の利用。誕生日外出でのレストラン食事
- ② 木曜礼拝（月1回）
- ③ 早朝礼拝（第2～5日曜日 午前6時30分～）
- ④ 朝の会・散歩（毎日）
- ⑤ コンビニタイム（毎日曜日 おやつの買い物）
- ⑥ カラオケ大会
- ⑦ バス旅行 など

(7) 家庭との連携について

- ① 利用者の方々やご家族からの相談に対しては、人権擁護を最優先に考え、いつでも相談に応じる体制を整え、相互理解を深めるように努めた。
- ② 利用者を中心に、より良い家族関係を築くため、家族会の開催や面会、各種行事等への参加・協力を得た。また、個別面談を計画的に実施した。
- ③ 病気・けが・入院や体調不良等には、家族同伴の病院受診や、投薬は、随時、家族への連絡や話し合いの時間を取ることによって、情報の提供と理解を求めた。

(8) 短期入所・日中一時支援事業について

短期入所は、宿泊を伴う利用で、国（県）の事業としての位置づけ。日中一時支援事業は、各市町村の事業としての位置付けであり、それぞれの施設と契約を結んだ上での利用開始となる。定期的なサービス利用者が増え、在宅からの相談や、入所希望の見学が増える傾向にある。

(9) 関係機関との連携について

各市町村の給付費担当者との適切な事務処理ができるよう努力したが、事務処理が複雑であり、対応に苦慮した。しかしながら、関係機関や各関係市町村の担当者のアドバイスを頂きながら、適切な対応に努めた。

(10) 福祉サービスに関する苦情解決について

利用者やご家族の方が、いつでもどんな小さな意見・要望・苦情など、自由に申し出ができる環境を整えるよう努力を払った。

- ① ホールの掲示板に広告し、相談・意見箱を設置。
- ② いつでもどんな小さな意見・要望・苦情など遠慮なく言える環境作り。
- ③ 相談受付記録や、相談・苦情処理状況記録の整備。
- ④ 利用者の方々と苦情解決第三者委員の方々との行事等の交流会を行い、相互の理解が深められるよう努力した。併せて、委員の方々への各種資料等の公表を通じ、職員の意識向上にも努めることが出来た。

苦情解決第三者委員会の開催日：平成26年4月15日、平成27年3月20日

— 主な報告内容 —

- 1) 利用者の方々に有効な職員研修の取り組み状況
- 2) 利用者のご家族からの職員の電話対応やご家族ご来園時の職員の対応状況
- 3) 今後予想される利用者のご家族の身体・身辺状況の変化等

(11) 開かれた施設づくりについて

年間を通じて各種行事を実施、積極的に学校の体験授業や多くのボランティアを受け入れることにより、障がいを持ったの方々への理解を深めて頂いたことを感じた。

特に、ルーテル中学校3年生のボランティア体験や、熊本県新規採用職員の「福祉現場体験」を受け入れ、「共に生きる生活の場」を体験していただいた。

また、月2回の「ふれあいランチ」（校区社協の依頼による高齢者への食事サービス事業）や「ふれあいバザー」、「地域交流感謝の集い」、「餅つき交流」などの恒例行事も好評である。

(12) 実習生等の受け入れについて

各種学校の実習生や研修生については、積極的に受け入れ利用者の方々によりよい人間関係の拡充を図り、将来の社会福祉サービスを担う福祉人材の育成に努めた。

学 校 名	実 習 期 間	人 数
尚綱短期大学	8月18日(月) ~ 8月30日(土)	2
県職員新任者研修	7月31日(木) ~ 8月1日(金)	3
盲学校初任者研修	8月6日(水) ~ 8月7日(木)	1
崇城大学薬学部	11月10日(月) ~ 11月14日(水)	2
九州ルーテル学院大学	9月8日(月) ~ 9月12日(金)	2
桜木中ナイストライ	6月17日(火) ~ 6月19日(木)	2
湖東中ナイストライ	10月15日(水) ~ 10月17日(金)	2
ルーテル学院中学3年生	9月12日(金)	69
慈愛園新採用者見学研修	4月21日(月)	20
九州ルーテル学院大学 子ども専攻見学研修	7月19日(土)	30

(13) 平成26年度実施行事／活動について

地域に開かれた施設づくりを目指し、各種行事を通して地域との交流を持つように努めた。

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
4月	利用者会議（10日） 全体歓迎会（15日） 大掃除（21日） 絵本読み聞かせ（25日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（10日・24日） 高野病院往診（18日） アニマルセラピー（18日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	法人新任研修会（21日） <内部研修> 新任職員研修会（15、16日） 第三者委員会（15日） 聖研（18日） リスクマネジメント委員会（17日） 職員・ケース検討会（22日） AED研修（24日） 給食・感染予防委員会（10日）
5月	家族会（3日） 利用者会議（8日） 阿蘇ファームランド（13日） 木曜礼拝（8日） 誕生会（28日） 絵本読み聞かせ（23日） 地域交流感謝の集い（31日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（8日・22日） 泉ヶ丘校区運動会（25日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<内部研修> リスクマネジメント委員会（15日） 職員・ケース検討会（27日） 防災講話（23日） 聖研（16日） 給食・感染予防委員会（8日）
6月	利用者会議（12日） 木曜礼拝（5日） 絵本読み聞かせ（27日） 大掃除（23日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（12日・26日） めぐみ幼稚園より花の日（6日） 桜木中ナイストライ（17日～19日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<外部研修> レクリエーション研修（20日） 福祉大会（7日） 人権研修（18日） ストレスケア研修（24日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（19日） 職員・ケース検討会（24日） 聖研（21日） 衛生講話（30日） トロミ剤研修（4日） 給食・感染予防委員会（12日）

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
7月	七夕飾りつけ、カキ氷会（1日） 利用者会議（10日） 木曜礼拝（4日） 絵本読み聞かせ（25日） 大庭照子コンサート招待（15日） 八代農高泉分校交流会（7日） 誕生会（30日） 大掃除（28日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（17日・24日） 高野病院往診（11日） アニマルセラピー（11日） 精神科検診（28日） 九州ルーテル大学学生見学（19日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<内部研修> リスクマネジメント委員会（17日） ケース検討会 聖研（18日） 職員・ケース検討会（29日） 給食・感染予防委員会（10日）
8月	利用者会議（7日） 家族会（13日） 在園者外出（13日） 夕食外注（13日） 絵本読み聞かせ（22日） 火の国祭り外出（2日） 大掃除（26日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（7日・28日） 熊本県より新任研修（1～2日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<外部研修> モチベーションアップ研修（5日～6日） 消防署立会い合同避難訓練（28日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（21日） 職員・ケース検討会（26日） 給食・感染予防委員会（7日）
9月	利用者会議（9日） 木曜礼拝（4日） 絵本読み聞かせ（26） 誕生会（30日） プロレス観戦招待（23日） 大掃除（29日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（11日・25日） ルーテル学院中学体験学習（12日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<外部研修> スーパーバイザー研修（2日～3日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（18日） 職員・ケース検討会（30日） 聖研（5日） 全体職員会（5日） 給食・感染予防委員会（11日）

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
10月	利用者会議（9日） 木曜礼拝（3日） 絵本読み聞かせ（24日） 人吉バス旅行（1日） 熊本市障がい者運動会（18日） ハーモニカ演奏（10日） 大掃除（27日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（9日・23日） 高野病院往診（24日） アニマルセラピー（24日） 湖東中ナイストライ（15日～17日） 精神科検診（17日） 自動車総連寄付贈呈（15日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<外部研修> モチバージョンアップ研修（7日～8日） 救急法研修（14日） 県知障職員研修（9日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（23日） 職員・ケース検討会（28日） 聖研（16日） 給食・感染予防委員会（9日）
11月	ふれあいバザー（3日） 利用者会議（13日） 教会バザー（9日） 誕生会 絵本読み聞かせ（28日） 大掃除（25日） 誕生会（25日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（13日・27日） めぐみ幼稚園感謝祭（7日） 崇城大より実習（10～12日） ルーテル中・高感謝会（13日） 早朝礼拝（第4・5日曜日）	<外部研修> 苦情解決、第三者委員研修（25日） リスクマネジメント研修（25日） 防災協会視察研修（28日） 県虐待防止・権利擁護研修（7日、28日） 社会福祉士実習指導者講習（22日～23日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（20日） 聖研（20日） 職員・ケース検討会（26日） 給食・感染予防委員会（13日）
12月	CSクリスマス（14日） 利用者会議（11日） 水俣園芸療法センター交流会（15日）	ふれあいランチ（11日） 町内餅つき大会（7日） エスカルゴ演奏会（23日）	<外部研修> 施設職員・保護者合同研修（6日）

	行事・活動	地域関係・他	研修・他
12月	ライトハウスクリスマス祝会（20日） 絵本の読み聞かせ（26日） 大掃除（24日） 体重・血圧測定	ロアッソ熊本交流会（7日） ルーテル中・高ハンドベルコンサート（26日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<内部研修> リスクマネジメント委員会（18日） 職員・ケース検討会（24日） 給食・感染予防委員会（12日）
1月	利用者会議（22日） 絵本読み聞かせ（23日） 大掃除（26日）木曜礼拝（8日） 誕生会（28日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（22日） 高野病院往診（23日） アニマルセラピー（23日） 早朝礼拝（第4日曜日）	<外部研修> 相談面接技術研修（20日～21日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（日） ケース検討会 職員・ケース検討会（27日） 給食・感染予防委員会（22日）
2月	利用者会議（12日） 節分（豆まき）（3日） 家族会（22日） バイキング食（4日） 絵本読み聞かせ（27日） 大掃除（23日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（12日・26日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<外部研修> 成年後見制度利用促進研修（6日） 強度行動障がい研修（7日） スーパーバイザー養成研修（17日～18日） <内部研修> リスクマネジメント委員会（19日） 職員・ケース検討会（24日） 給食・感染予防委員会（12日）
3月	利用者会議（12日） 木曜礼拝（5日） 卒業・退園・退職者の感謝会（20日） 活動報告会（27日） 絵本読み聞かせ（20日） 体重・血圧測定	ふれあいランチ（12日・26日） 早朝礼拝（第2・4日曜日）	<内部研修> リスクマネジメント委員会（19日） 第三者委員会（20日） 職員・ケース検討会（24日） 聖研（20日） 給食・感染予防委員会（12日）